

研究に関する情報公開

福島県立医科大学保健科学部作業療法学科では、本学倫理委員会の承認を得て、下記の研究を実施します。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

2022年8月 福島県立医科大学 学長 竹之下誠一

福島県立医科大学保健科学部作業療法学科 藤田貴昭

【研究課題名】

大腿骨骨折患者の機能的転帰と在院日数の予後予測

【研究期間】

研究機関の長が許可した日から2025年3月31日

【研究の意義・目的】

大腿骨近位部骨折は高齢者において発生頻度の高い骨折の一つです。大腿骨近位部骨折を負った方が歩行機能や生活機能の回復のためには、リハビリテーションが重要になります。リハビリテーションを行う際、患者さんが退院時にどのくらい回復しているか、入院が何日くらいになりそうかといった予測値は、効果的なリハビリテーション計画を立てるために重要な情報になります。本研究は、その予測値を算出する数理モデルを作成することを目的としています。本研究結果は、大腿骨骨折の患者様の退院時の機能状態と在院日数の把握を入院早期に可能とし、効果的な介入計画の立案に役立つ資料になると考えられます。

【研究の対象となる方】

2020年4月1日から2022年3月31日の間に大腿骨転子部骨折または頸部骨折に起因して竹田総合病院に入院し、リハビリテーションを受けたのち退院した20歳以上の方を対象とします。

【研究の方法】

竹田総合病院リハビリテーション科内のパソコンから、過去の通常のリハビリテーション診療で得られた情報（下記）を収集して分析を行います。

- 属性：年齢、性別、急性期入院日、回復期入棟日、急性期在棟日数、回復期入棟日数、在院日数、家族構成（同居人数）、入院時介護保険の有無及び要介護度、入院時身長、入院時体重、入院時BMI、担当セラピスト経験年数
- 医学的情報：病名、手術名、手術日、骨折部位、合併症
- 心身機能・生活機能：入院時Japan coma scale、入院時下肢筋力（徒手筋力検査法）、入院時HDS-R、入院時日常生活活動自立度、入院時認知症高齢者の日常生活自立度、入院時看護必要度、入院時と退院時のFunctional Independence Measure (FIM)、FIM効率、FIM改善度、実績指数
- リハビリテーション：48時間以内の離床の有無、荷重開始日、免荷期間、手術前期間、全荷重開始となった日、全荷重までの日数、リエゾン介入の有無

【研究組織】

研究代表者 福島県立医科大学保健科学部作業療法学科 藤田貴昭

研究分担者 福島県立医科大学保健科学部作業療法学科 五百川和明

共同研究機関の研究責任者 竹田総合病院リハビリテーション科 塚田徹

共同研究機関の分担研究者 竹田総合病院リハビリテーション科 大志田直樹

共同研究機関の分担研究者 竹田総合病院リハビリテーション科 大貫皆人

共同研究機関の分担研究者 竹田総合病院リハビリテーション科 安保俊英

【本研究に関する問い合わせ先】

本研究に関する御質問等がございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書及び研究の方法に関する資料を閲覧できます。

〒960-8516 福島県福島市栄町10番6号
公立大学法人福島県立医科大学保健科学部作業療法学科 担当 藤田貴昭
電話: 024-581-5503 FAX: 024-581-5528
E-mail: t-fujita@fmu.ac.jp

【試料・情報の利用を望まれない場合の連絡先】

試料・情報が当該研究に用いられることについて研究対象者ご本人又は代理人の方に御了承いただけない場合には、研究対象者とはせずに試料・情報の利用、提供をいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人又は代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果が既に医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合、データを取り消すことは困難な場合もあります。

〒965-8585 福島県会津若松市山鹿町3番27号
竹田総合病院リハビリテーション部 担当 塚田徹
電話: 0242-29-9900 E-mail: tsukada@takeda.or.jp